

## 第18回全国RYLA研究会大分会議

2026年4月11日(土)、大分市内ホルトホール大分で開催された全国RYLA研究会大分会議に地区RYLA委員として参加した。

大会テーマは「RYLAでつなぐ世界の未来－自らの可能性が明日を拓く」である。

開会行事に続き、三木明第2680地区パストガバナーによる「RYLAの歴史について」、安行英文2680地区パストガバナーによる「危機管理について」の講演を聴き、当地区を含め全国4地区のRYLAプロジェクトの紹介があった。

その後、グループディスカッションを行い、情報交換を行われ、各地区での取組や課題が率直に共有でき、建設的な議論が展開された。最後に、上山昭治RIJYEM理事長による講評があった。

その後、場所を移動し懇親会が開かれ、ロータリアンとして学びと交流を深めた。

(地区RYLA委員 小泉博明)



## 第6期RYLAセミナー報告会兼学友会

2026年4月18日(土)14:00から、文京学院大学において第6期RYLAセミナー報告会兼学友会が実施された。横浜・上郷森の家で、2月27日～3月1日に開催した本年度のRYLAセミナー参加者(23名)による報告会である。また、ロータリアン、ローターアクターだけではなく、RYLAセミナー経験者のRYLA学友も参加した。

セミナー参加者一人ひとりが自らの体験を省察し、自らの言葉で仲間と支え合った時間、自分の弱さに向き合い葛藤した瞬間、一歩踏み出した勇気などが語られ、参加者の成長の軌跡を感じることができた。

報告会は、単なる研修のまとめではなく、セミナー参加者がリーダーシップを発揮し、次のステージへ飛躍するための場である。また、ロータリアンにとっても若者から刺激を受け、とくに地域の活性化のために若者を支援する責任を感じた。

報告会終了後、懇親会があり本年度セミナー参加者と学友が親しく交流し、新たな学友のセミナー支援を期待した。当クラブから、石塚丈晴会員、高木義男会員が参加した。

(地区RYLA委員 小泉博明)



# Weekly Report



会長：榊原一久 幹事：佐藤美枝子 RI会長：フランチェスコ・アレツツォ 第2580地区ガバナー：中川雅雄

### 四字熟語でロータリー 不惜身命 (ふしゃくしんみょう)

仏教で、自分の身体や生命を惜しまないで、仏道に尽くすことです。別の言葉で言うならば、一所懸命あるいは全力投球になると思います。ロータリーでは、自分の身体や生命を惜しまずに、奉仕活動に尽力するというよりも、奉仕活動を楽しみましょう。(小泉博明)

## 本日の例会

5月14日(木)12:30～13:30  
会長エレクト方針

## 次回の例会

5月18日(月)11:30～14:00  
5クラブ合同例会

## 4月16日 例会報告

司会	森川会員
開会点鐘	榊原会長
ロータリーソング	
ソングリーダー	小泉会員
会員総数	28名
出席規定適用者数	22名
本日の出席者総数	19名
// 免除者出席数	5名
本日の出席率	70.37%
ビジター	
村上 快史様	東京南RC

## 会長・幹事報告

1. 次回の例会は、5月14日(木)になります。
2. 2026-27年度国際大会の会場が、ドバイからバルセロナ(日程2027年6月26日～30日)に変更されたとの連絡がRIより来ております。

3. 5月18日(月)は北・豊島・板橋グループ5クラブ合同例会となります(11時30分登録開始・昼食、12時30分点鐘、14時00分終了)。
4. 4月24日(金)に友好クラブの台北東海ロータリークラブの31周年記念式典が開かれます。会長、幹事が出席します。

## 5月お祝い

会員誕生日 森川 義基 会員  
鈴木 孝雄 会員  
皆出席年 39年 中川 武 会員

## 5月例会SAA担当

司会 宮部 一弘 会員  
ニコニコ 宮代 昌三 会員  
写真 加古 博昭 会員  
ソングリーダー 吉田 武輝 会員

## 今年度米山奨学生

ENKHTAIVAN, ENKH AMGALANさん  
(エンフタイワン, エンフ アムガラン)

【生年月日】2004年11月1日

【自己紹介】自己紹介させていただきます。

私の名前はエンフアムガランと申します。アムガと呼んでください。モンゴルウランバートル出身です。高校から日本に通ってます。専修大学で商学部マーケティング学科に所属しています。同時に大学で相撲をやっています。

## 5月

受付：長尾益男会員 山本伸也会員  
司会：宮部一弘会員 ニコニコ：宮代昌三会員  
写真：加古博昭会員 ソングリーダー：吉田武輝会員



ニコニコ

石塚会員 小泉さん、先日は著書「ウェルビーイングを目指す道徳教育」を頂戴し誠にありがとうございました。これからじっくり拝読させていただきます。

横山会員 留学生パーティに御参加ください。  
 ワイン同好会 昨夜、神楽坂のフレンチレストラン「ラリアンス」で開催されました。予想以上に37名の参加があり、栃木PG、安里GEもメインを飾っていただきました。ワインは鈴木会員に提供していただいたボルドーの銘醸ワイン、加古会員の白ワインも素晴らしいもので、レストランのミュージックを楽しみました。残金をニコニコします。

本日の合計額: 20,000円  
 今年度ニコニコ累計額: 462,250円

国際奉仕フォーラム



国際奉仕委員会 鈴木孝雄委員長

EPPINGRCとの交流の歴史:  
 両クラブの会長メッセージのご披露

国際奉仕活動における社会奉仕:

- ①バギオ基金に対する寄付について  
 クラブ予算が大変苦しいので、今年度は予定の半額にさせていただくことに理事会で承認された。
- ②国際的社会奉仕奉仕について  
 台湾などとの友好関係は維持しながらも、単に交流だけでなく、共に地域のためになるプロジェクトに参加するべきと思う。

③友好クラブ・姉妹クラブとの関係  
 EppingRC・台北東海RC・浦添RC・那覇RCとの友好を大切にする。  
 また那覇RCから、2027~28年度のガバナー安里政晃がなられるので協力したい。  
 (委員長鈴木孝雄)



国際奉仕委員会 里見雅行副委員長

台北東海RCは、1995年に設立され、今年創立31年になります。来週4月24日に創立31周年記念式典が開催され、榊原会長と佐藤幹事が出席予定です。このクラブは日本語を公用語とし、台湾在住の日本人と、日本語の上手な台湾の方々が発員になっています。

創立の翌年1996年に東京豊島東RCが友好クラブになり、現クラブまで交流が続いています。沖縄の浦添RCは1967年創立で、来年60周年を迎えます。最近では、地区大会で会った時に挨拶するくらいです。

国際大会については資料を参照してください。分科会での話し合い、本会議出席、世界中のネットワーク作り、新旧友人との交流、「友愛の家」見学、開催都市の魅力堪能、アトラクションの楽しみなど、多くのことができます。今年6月に台北で開催され、当クラブからは会員7名を含む9名が参加予定です。公式スケジュールは資料を参照してください。その他、第3482地区主催歓迎会や第2580地区ガバナーナイトで台湾の方々や交流するほか、RI理事主催の日本人朝食会もあります。国際大会は、2025年はカルガリー(15,900名)、2024年はシンガポール(14,600名)、2023年はメルボルン(12,800名)で開催されました。2027年はドバイから変更されてバルセロナで、2028年はミネアポリスで開催される予定です。ワクワクする催しなので、都合をつけて是非ご参加ください。(副委員長里見雅行)

台北東海ロータリークラブ  
 創立31周年記念祝賀会

台北東海ロータリークラブ創立31周年記念祝賀会に出席して

去る2026年4月24日に、上記祝賀会が台北グランドヴィクトリアホテルにて開催されました。18時からの点鐘で、日本からは榊原会長と幹事佐藤が出席しました。いつもながらの祭典で日本からも100名弱のロータリアンが参加して、例会を行い、その後は盛大な祭典となりました。台北東海RCは1995年4月に創立され、東京豊島東RCとして友好クラブとなったのが1996年2月であり、以後東京池袋RCと合併してからも友好を深めております。台北東海RCの会長は、元赤坂RCに所属されていた勝山洋光JUN会員であり、点鐘後クラブの歌を3カ国後で高らかに合唱(写真)。会長挨拶、ゲスト挨拶と続き当クラブの榊原会長の番へと。お土産には日本独特の米菓子(せんべい)を渡しました。また鈴木孝雄会員から託されたニコニコもお渡しいたしました。昨年度の奉仕活動としては、日本の米高騰のおりには石川県の小学校に米の寄付をしたプロジェクトの話が何人かの方が報告されていきました。また台湾においても米山奨学生の援助があり、日本同様の活動が行われておりました。19時からの祭典は、鏡開き、チアリーダーの踊り、余興として会員および奥様の歌、又会員および家族による太鼓の演奏、会員によるサックス演奏等とう華やかに行われました。チアリーダーの踊りは観客も巻き込み、各テーブルにまわって手フリ・ステップと多いに盛り上がり、最後は野球の応援歌を舞台のうえで会員(男性のみ)とともに歌いあげました(榊原会長もいます)。台北東海RCの方たちは野球が大好きとのことで3月にも野球観戦で日本にみえたそうです。今回は私のテーブルには台北東海RCの会員の蘇さん(女性)がいたので流暢な日本語でわからない事を説明していただきました。そんなこんなで21時ころにはお開きとなりましたが、帰りは雨模様でタクシーも拾えず濡れながらの帰宅となりました。一泊二日の駆け足の訪問でした。次回は6月に国際大会が台湾で開催されますが今回を上回る会員の方の参加が予定されております。皆さん、ご一緒に参りましょう。(記 佐藤美枝子)

